大月っ子

大月小学校学校だより　令和８年６月２３日（火）NO. 5

目指す子ども像：**自分が好き・友達が好き・大月が好き**

高知県子ども詩集『やまもも』に掲載されました！



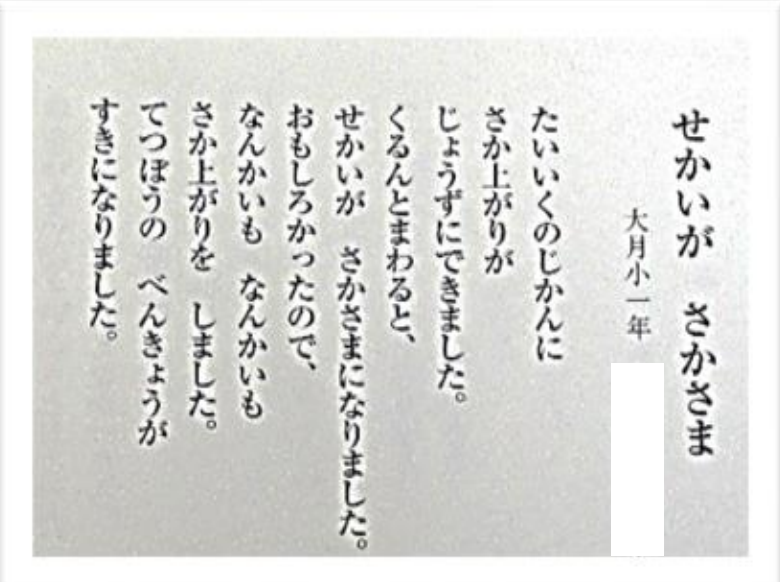
高知県子ども詩集「やまもも」は高知の小中学生が暮らしの中で、感じたことを詩の形で表現した高知県のこども詩集です。この詩集が５月３０日発売の第５０集『みんなにあげたい』で刊行を終了しました。

１９７７年（昭和５２年）の第１集からちょうど半世紀。素朴な子どもたちの作品は昭和、平成、令和と時代を超えて県民に親しまれてきました。その最後の記念すべき第５０集に大月小学校から、昨年度の入賞した詩２点とカット１点が掲載されました。

おめでとうございます！！この最後の集も、図書室に置きます。子ども達に読んでもらいたいです。（また、これまでに発行された『やまもも』詩集は図書室にあります。）

★★★入賞おめでとう！★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

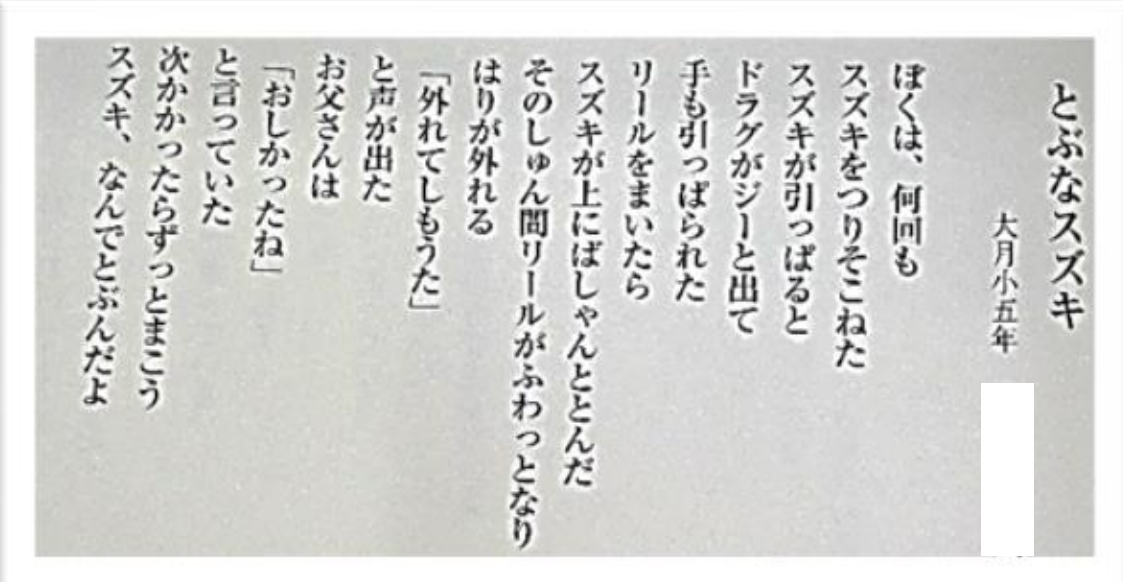
【２年：　　　くん】　　　【６年：　　　くん】　　　【５年：　　　さん】



せかいが　さかさま

大月小一年

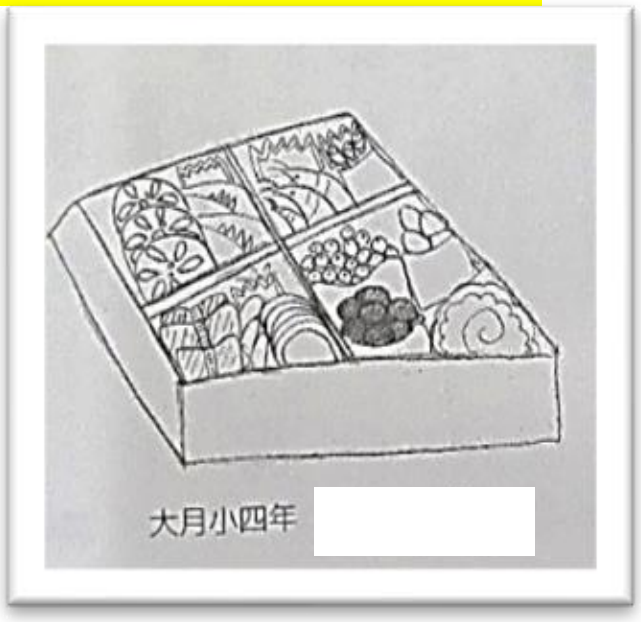
たいいくのじかんに
さか上がりが
じょうずにできました。
くるんとまわると、
せかいが　さかさまになりました。
おもしろかったので、
なんかいも　なんかいも
さか上がりを　しました。
てつぼうの　べんきょうが
すきになりました。



とぶなスズキ

大月小五年

ぼくは、何回も
スズキをつりそこねた
スズキが引っぱると
ドラグがジーと出て
手も引っぱられた
リールをまいたら
スズキが上にばしゃんととんだ
そのしゅん間リールがふわっとなり
はりが外れる
「外れてしもうた」
と声が出た
お父さんは
「おしかったね」
と言っていた
次かかったらずっとまこう
スズキ、なんでとぶんだよ



【6/20 道徳参観日、ご参観ありがとうございました！！】★★★★★★★★★★★★★★★★



年に一度の道徳参観日が６月２０日（土）に行われました。多くの保護者の皆様に来校していただき、ありがとうございました。道徳の授業では、内容項目（「善悪の判断」「友情・信頼」など２２項目）が大切であることを理解するとともに、大切であっても、なかなか実現することが出来ない人間の弱さや、個々の感じ方・考え方は同じではないことも大切にしています。「自分だったらどうするか」、「ほかの人はどう考えるか」などを考えることで自分を見つめ直し、自分の生き方について考えを深めていきます。

参観日では、その一端をご覧いただけたと思います。子ども達はこのような学習を繰り返すとともに、様々な人と関わりながら、少しずつ道徳性を身に付けていきます。学校での取り組みをご理解いただき、今後ともご家庭や地域でのご協力をよろしくお願いします。












各学年で、自分の考えを発表したり、友だちの気持ちを考えたりしながら、１時間みんなで共有できました！

授業参観後には、大月町小才角出身の　　（現在は　　）　　さんが「私たちと宇宙の未来～小才角を出て宇宙の仕事をするまで～」という演題で、小中学校の児童生徒と保護者の皆さんにお話をしてくださいました。小才角小学校から姫ノ井小学校に、、、そして大月中学校から高専に進学した後、就職しアメリカで学んだことや故郷に帰ってきて考えたこと等に触れながらの内容でした。そして、現在の宇宙に関係するお仕事のことを、小学生にも楽しんで聞いてもらうために、クイズも盛り込んだり、質問タイムで交流したりと工夫してくださった講演会でした。

最後に、今の仕事があることについて、子どもの時から大人になってもずっとまわりの人に助けてもらったことや、自分が経験したこととして、①ちゃんとやりきること②わからないことは聞くこと③相手を知ること④失敗しても次に行くことなど　　さんの歩んできた道から後輩に伝えたいことを熱く語ってくださいました。最後の閉会式では、中学校の生徒会長さんからもお礼の言葉を交えてキャリアの視点でのお話に心打たれた感想を述べていました。この町で育ち、自分の夢を実現して、今生き生きとお仕事をされている　　さんのお話は、子ども達にとってとても勇気や元気をいただきました。お忙しい中、本当に子ども達のためにありがとうございました。










（　　）さん、貴重なお話をありがとうございました。大月にまた帰ってきてください。

令和の授業を創る推進プロジェクト（教育ＤＸ）について

本校は今年度、高知県教育委員会より「令和の授業を創る推進プロジェクト（教育 DX）」の指定事業校に大月中学校とともに選定されました。

このプロジェクトは、これからの時代を生きる子どもたちに必要な資質・能力を育むため、デジタル技術（ICT）を効果的に活用し、これまでの学校教育の強みと掛け合わせながら、より充実した授業や学習環境を作り出す取り組みです。

① このプロジェクトで目指すことは（教育 DX とは）～★★★～★★★～★★★～★★★～★★★～

単にタブレット端末を使うことだけが目的ではありません。
デジタルツールを道具として使いこなし、子ども達一人ひとりの理解度に合わせた「個別最適化」と友達と意見を交わしながら深める「協働的な学び」を一体的に進め、子ども達の「わかった！」「おもしろい！」を引き出す授業を目指します。



②本校での具体的な取組～★★★～★★★～★★★～★★★～★★★～★★★～★★★～★★★～

◎デジタル端末（タブレット等）の日常的な活用

授業中での意見の共有や、調べ学習、一人ひとりの習熟度に応じたドリル学習などで活用を深めます。

◎「主体的・対話的で深い学び」の充実

デジタルを活用して自分の考えを表現したり、友達と瞬時に意見を比較・検討したりすることで、考える力を養います。



◎家庭学習との連携

持ち帰り端末等を活用し、学校での学びを家庭での復習や自主学習にスムーズにつなげられるよう工夫します。



③　保護者の皆様へのお願い～★★★～★★★～★★★～★★★～★★★～★★★～★★★～★★★～

この取り組みを進めるにあたり、以下の点について家庭でもご協力をお願いいたします。

◎端末の持ち帰りと管理について

現在も家庭学習のために端末を持ち帰っています。ご家庭での保管や充電、丁寧な取り扱いについて、お子さんへのお声がけをお願いします。



◎家庭でのルールづくり

使用時間や使用する場所など、学習に集中できる環境づくりや健康面への配慮について、ぜひご家庭でも話し合ってルールを決めていただければ幸いです。

★これまでの学校が大切にしてきた「対面での対話」「ノートに書くこと」などの良さはそのままに、デジタルの力をプラスすることで、子ども達の可能性をさらに広げていきたいと考えています。
★教職員一同、研修を重ねながら、子ども達にとってより魅力的な授業づくりに取り組んでいきたいと考えています。ご不明な点やご心配なことがありましたら、いつでも学校までお問い合わせください。